オムロンの概要



2019年11月

オムロン株式会社

事業概要

会社データ

創業	1933年（昭和8年）5月10日
本社	京都市下京区塩小路通堀川東入
資本金	641億円
連結売上高	8,595億円（2018年度；うち、海外売上高構成比60%）
連結従業員数	連結35,090人＊
上場市場	東証１部（証券コード　6645）
発行済株式総数	213,958千株＊

＊2019年3月末時点

Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

1933年に「立石電機製作所」として創業

1933年、立石一真が東大阪で
「立石電機製作所」を創業。

オムロン創業の契機となった第1号製品は、
レントゲン写真撮影用タイマー。
20分の1秒で正確に撮影できる
当時としては画期的な製品だった。

1945年、戦災を逃れ京都・御室に
本社を移転。

1990年、「オムロン株式会社」に
社名変更



創業者　立石一真
（1900～1991）



創業当時の様子。



レントゲン写真
撮影用タイマー

Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

私たちのDNA: 事業を通じて社会の発展に貢献する

1959年　会社の憲法「社憲」を制定



創業者直筆による社憲の草稿スケッチ

【社憲】

われわれの働きで

われわれの生活を向上し

よりよい社会をつくりましょう

Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

企業理念（2015年改定）

Our Mission
（社憲）

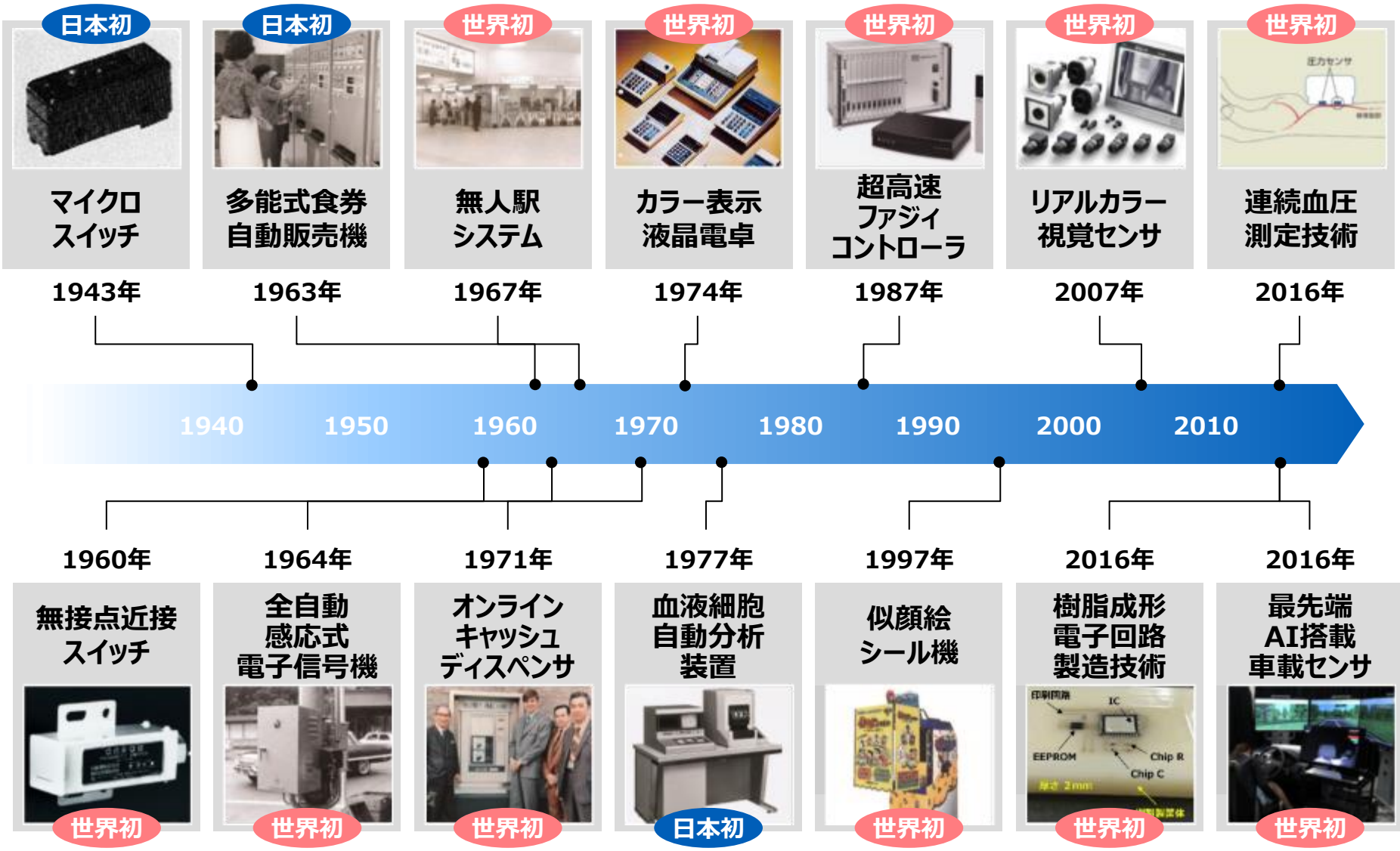
われわれの働きで われわれの生活を向上し よりよい社会をつくりましょう

Our Values
私たちが大切にする価値観

- **ソーシャルニーズの創造**
  私たちは、世に先駆けて新たな価値を創造し続けます。
- **絶えざるチャレンジ**
  私たちは、失敗を恐れず情熱をもって挑戦し続けます。
- **人間性の尊重**
  私たちは、誠実であることを誇りとし、人間の可能性を信じ続けます。

Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

オムロンの歴史は「ソーシャルニーズの創造」の歴史



Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

オムロンのコア技術

オムロンのコア技術は“センシング ＆ コントロール+Think”。
さまざまな情報を分析し、価値に変換する。

様々な情報を感知する
技術（ハードウェア）

使う人にとっての価値として
届ける技術（ハードウェア）

センシング



コントロール

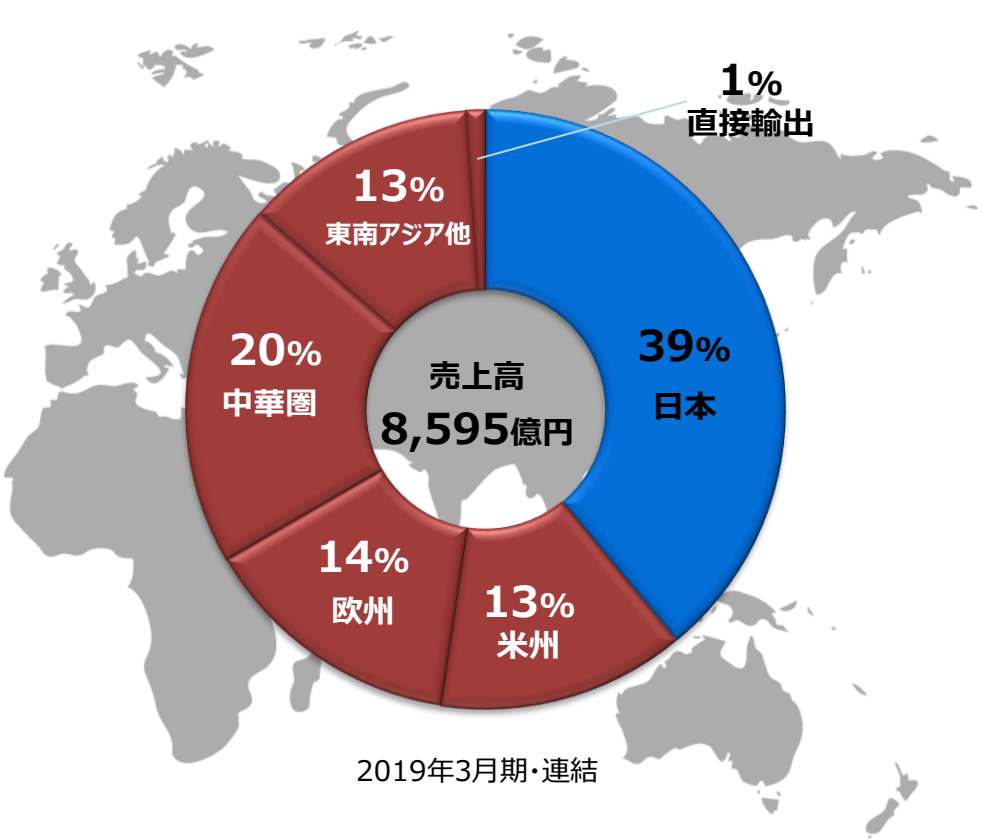
感知した情報を価値に転換
する技術（ソフトウェア）

全てを自動的に行う一つの商品に仕上げる技術
＝“センシング＆コントロール＋Think”技術

Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

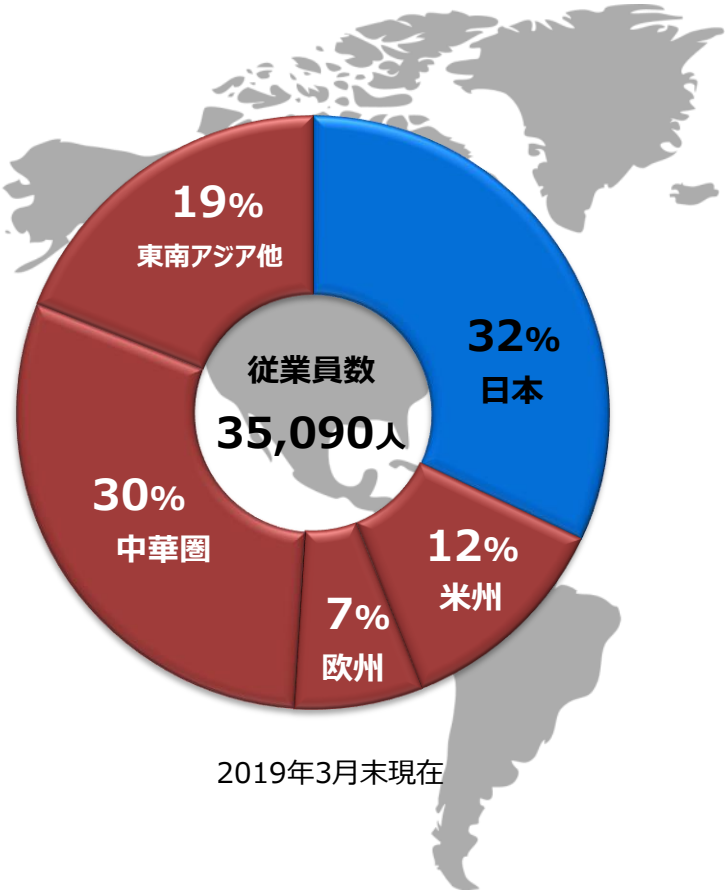
約120の国と地域で事業を展開

約6割が海外売上
(売上高構成比)



2019年3月期・連結

約7割が日本人以外
(従業員比率)



2019年3月末現在

Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

オムロンの多彩な事業ポートフォリオ

本社直轄（その他）事業

太陽光発電用パワーコンディショナ、
蓄電システムなど



ヘルスケア事業

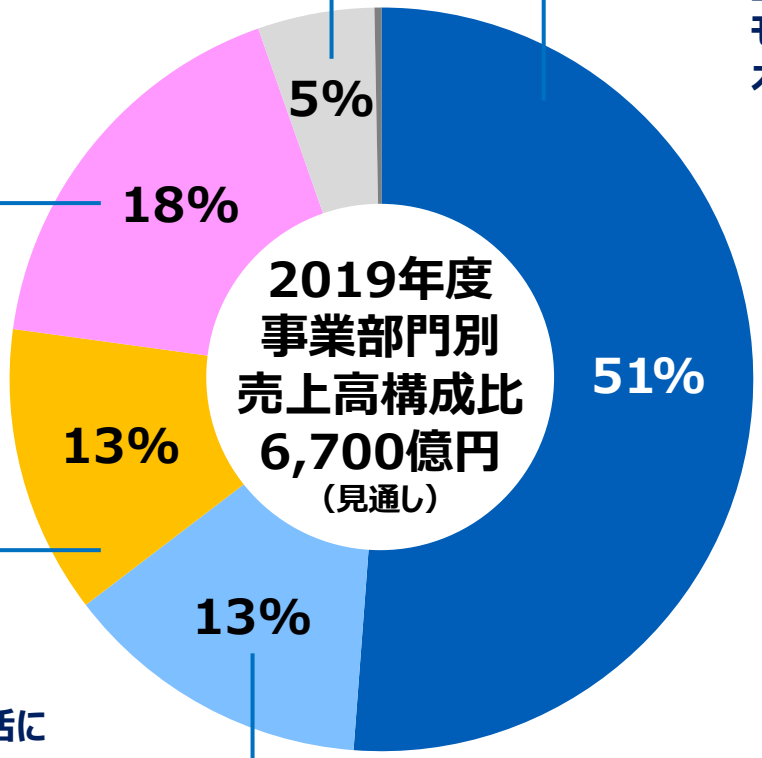
世界中の人々の健康を
サポート（電子血圧計、
体温計など）



社会システム事業

社会インフラのための多彩な
システムで、快適で安全な社会生活に
貢献（自動改札機・券売機など）





制御機器事業

工場自動化により、世界の
モノづくり革新をリードする
オムロンの主力事業
（センサ、コントロール機器、
ロボットなど）



電子部品事業

家電、通信機器などの
高性能化に貢献
（リレー、スイッチなど）



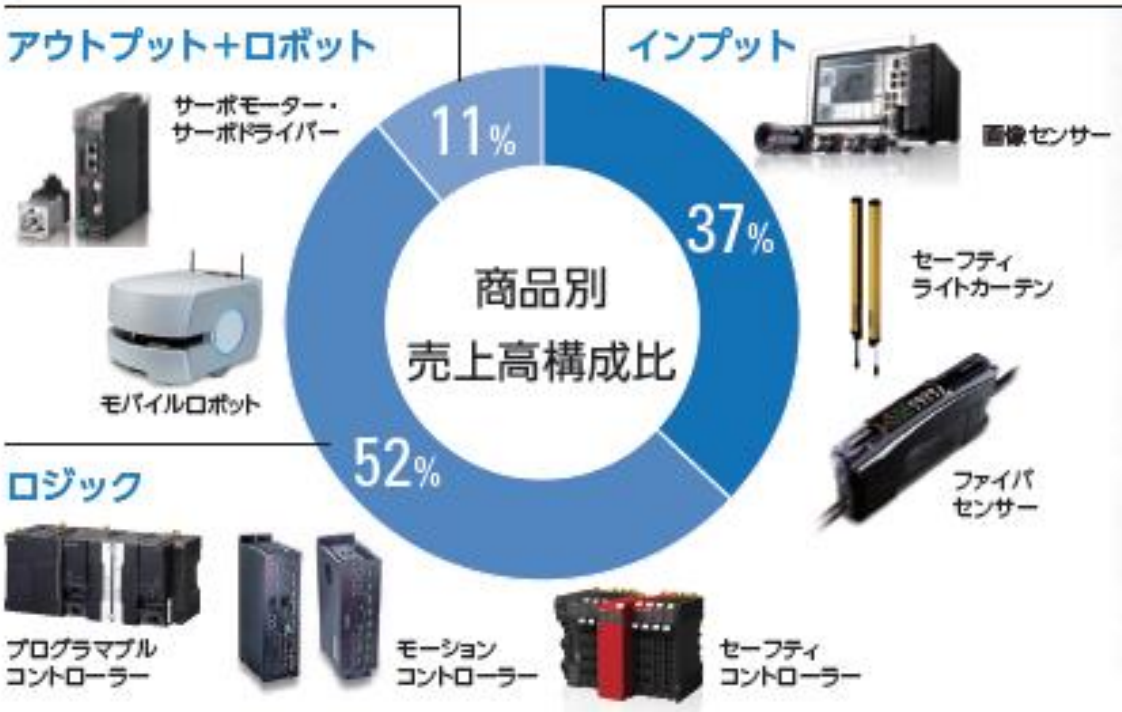
Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

制御機器事業

制御機器事業(IAB)

制御機器関連国内シェア 約40%

(出所) NECA(日本電気制御機器工業会)統計





Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

幅広いラインナップ

20万機種を越える豊富な商品 × 300に及ぶ制御アプリ技術の摺合せ



Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

電子部品事業

電子部品事業(EMC)　リレー世界シェア　約20%　(出所) 当社調べ

その他電子部品
(アミューズメント向け機器、
画像センシング、
MEMSセンサなど)



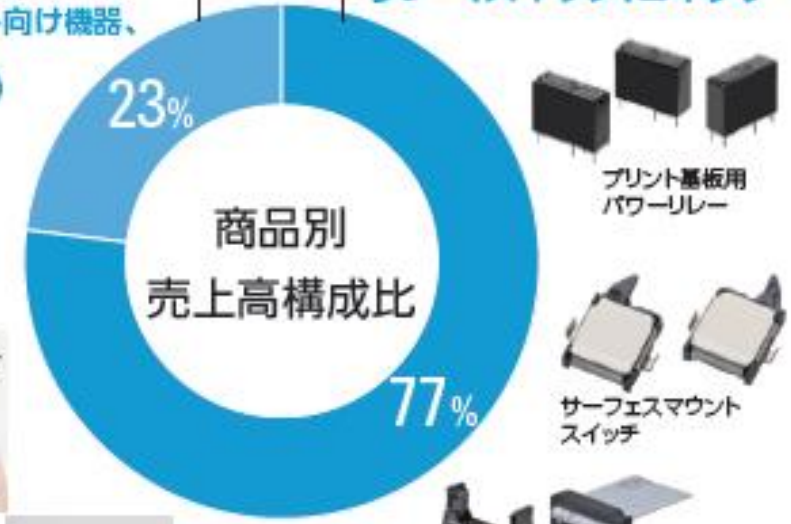
アミューズメント専用
電源ユニット



画像センシング



MEMS圧力
センサー



リレー、スイッチ、コネクタ

プリント基板用
パワーリレー

サーフェスマウント
スイッチ



MILコネクタ

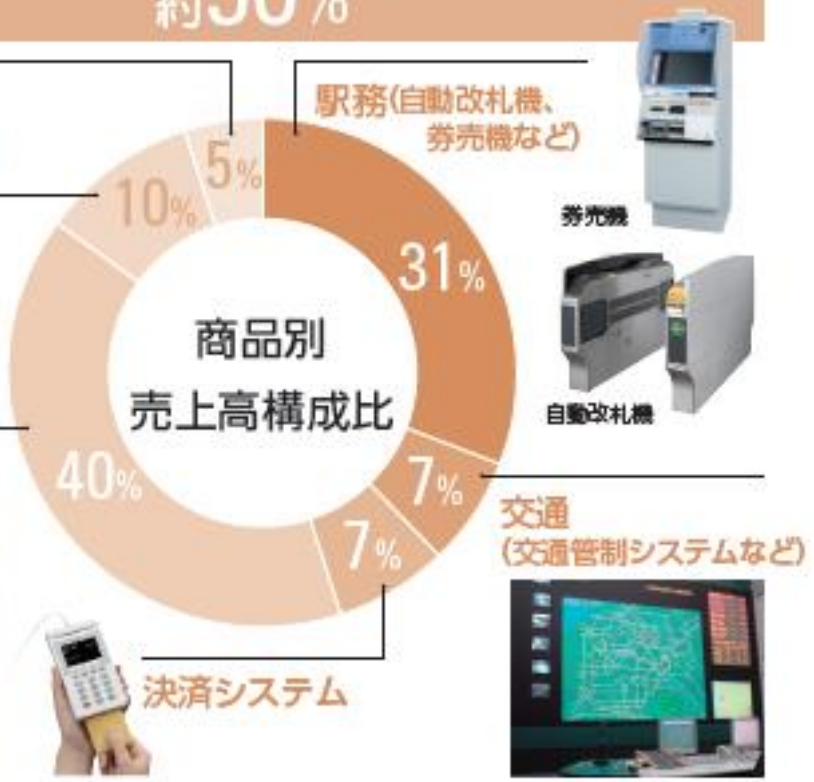


Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

社会システム事業

社会システム事業(SSB)　駅務機器国内シェア　約50%（出所）当社調べ



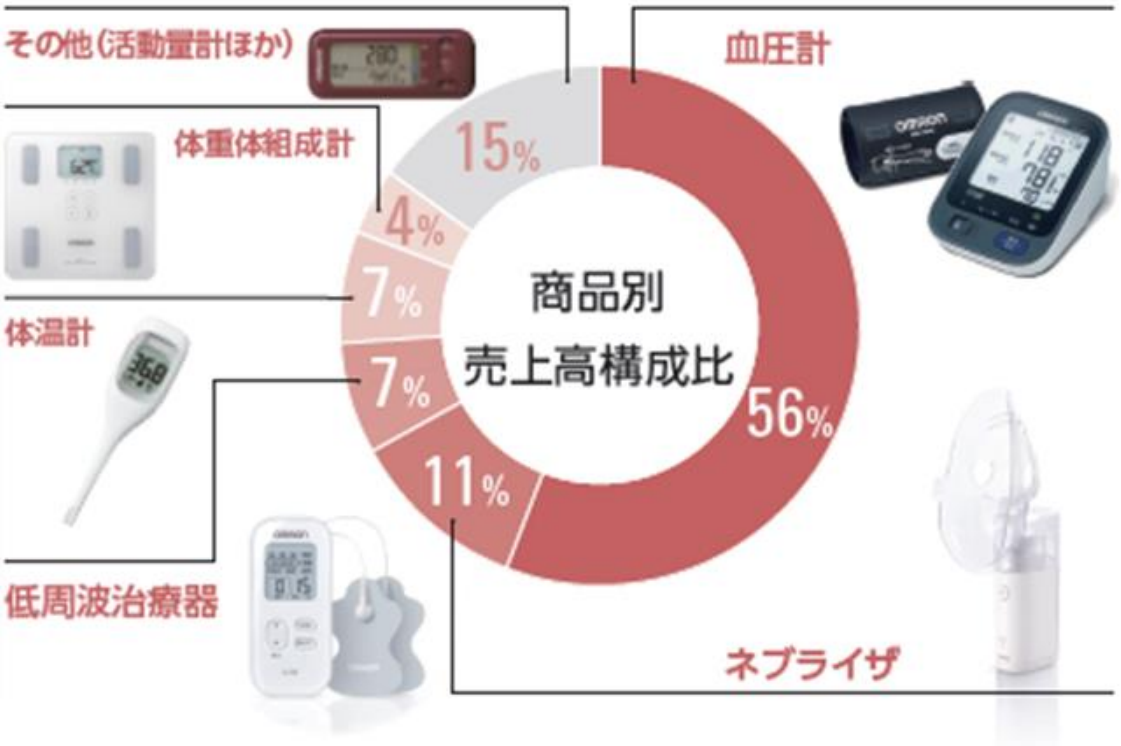


Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

ヘルスケア事業

ヘルスケア事業(HCB)　家庭用電子血圧計世界シェア　約50%（出所）当社調べ





Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

企業価値向上に向けた取り組み

長期ビジョンと中期経営計画「VG2.0」

10年ビジョンを掲げるとともに、３年/4年の中期経営計画を策定し経営を実行

2019

長期ビジョン VG2020

2021年~



VG2.0
(2017～2020)

売上高 １兆円
営業利益 1,000億円

EARTH-1
STAGE
(2014～2016)

GLOBE
STAGE
(2011～2013)

Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

VG2.0 目指す姿・全社方針

サステナビリティの取り組みを中計VG2.0に盛り込む

企業理念

中期経営計画 VG2.0

業績目標・事業戦略　　**サステナビリティ重要課題**

質量兼備の地球価値創造企業

1. 注力ドメインを再設定し事業を最強化
2. ビジネスモデルの進化
3. コア技術の強化

FA　　ヘルスケア　　ソーシャル ソリューション

×　　×

パートナーとの協創　　パートナーとの協創

＋　　＋

人財マネジメント・ものづくり・
リスクマネジメント…

人財 マネジメント　　モノづくり　　リスク マネジメント

Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

主要ESGインデックスへの組み入れ

＜オムロンが選定されているESGインデックス ＞

- ✓ DJSI－World
- ✓ FTSE4Good Index Series
- ✓ MSCI ESG Leaders Indexes
- ✓ MSCI SRI Indexes
- ✓ STOXX Global ESG Leaders indices
- ✓ FTSE Blossom Japan Index
- ✓ MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- ✓ MSCI 日本株 女性活躍指数
- ✓ S&P/JPXカーボン・エフィシェント指数
- ✓ Euronext Vigeo Eiris World 120 Index **2019年度 初選定**

*オムロンでは、CDP気候変動・水に関する調査を含むESG評価機関による調査など、多くの外部からの調査に協力し、情報を開示しています。

Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

社外からの評価

＜国内におけるESG関連表彰・銘柄選定＞

一般社団法人 日本取締役協会　主催

✓ コーポレート・ガバナンス・オブ・ザ・イヤー2018
　経済産業大臣賞　　**2018年度受賞**

環境省　主催

✓ 平成30年度　地球温暖化防止活動大臣表彰
　「対策活動実践・普及部門」を受賞　　**2018年度受賞**

経済産業省・東京証券取引所　選定

✓ なでしこ銘柄　　**2017年度より2年連続選定**
✓ 健康経営銘柄2019　　**2018年度 初選定**
✓ 健康経営優良法人～ホワイト500～　　**2016年度より3年連続選定**

日本経済新聞社　選定

✓ 日経225　　**2019年3月 初選定**

Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

利益配分の基本方針

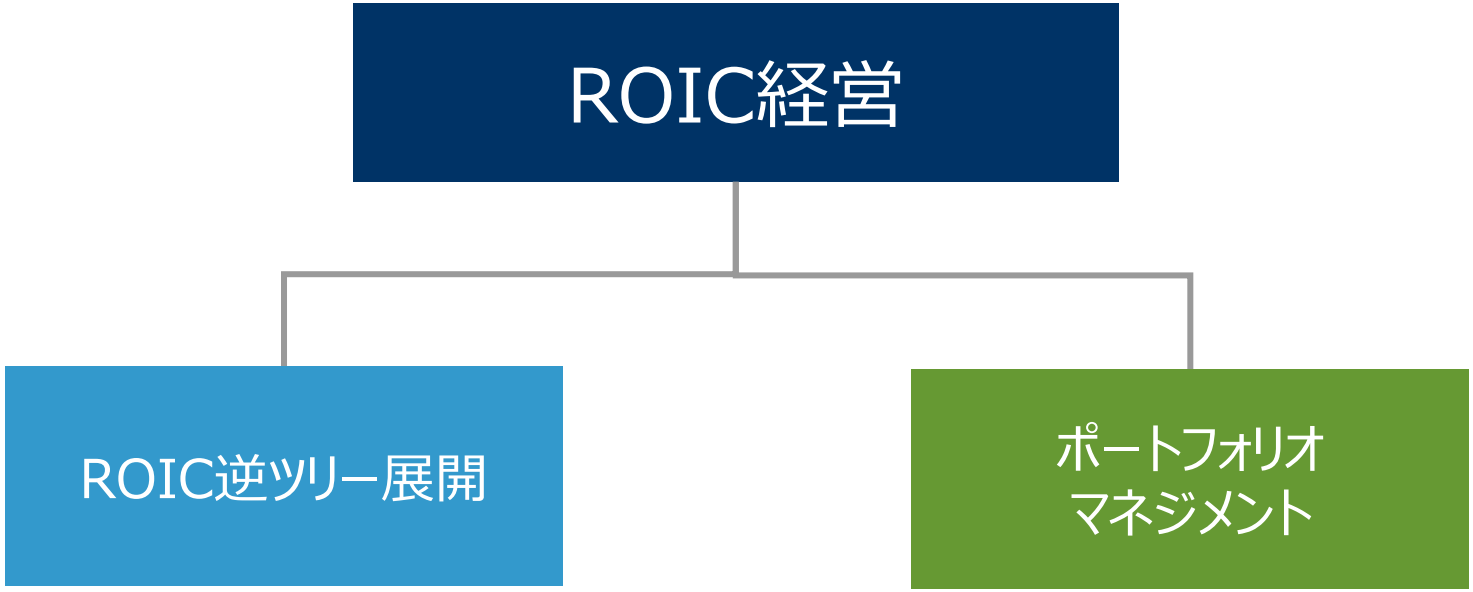
利益配分の優先順位は、①将来の成長に向けた投資、②配当、③自己株式取得

将来の成長に向けた投資	FA、ヘルスケアを中心に、成長投資(M&A)、研究開発費、設備投資に振り向ける
配当	年間配当は配当性向30%程度、株主資本配当率(DOE)3%程度を目安として決定する
自己株式取得	長期にわたり留保された余剰資金は、機動的に自己株式の取得を実施

Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

ROIC経営

中長期の経営判断基準としてROIC経営を設定



- 各事業の構造・課題に応じた、ROIC改善の強化項目（ドライバー）とそれらを強化・改善するためのアクションとKPIを設定。

- 各BCのポジションに応じた投資強化や事業撤退の戦略を立案。
- 経営資源の配分を決定。

Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

ROIC逆ツリー展開

逆ツリー展開を通じ、現場まで繋がったKPI/PDCAを実行

現 場



KPI	改善ドライバー		
注力業界/ｴﾘｱ 売上 新商品/注力商品 売上 売価ｺﾝﾄﾛｰﾙ 変動費CD額・率 失敗ｺｽﾄ率	付加価値率	売上総利益率	ROS
一人当り生産台数 自動化率（省人数）	製造固定費率		
売上高人件費率	販管費率 R&D率		
在庫月数 不動在庫月数 債権/債務月数	運転資金回転率		投下資本回転率
設備回転率 （1/N自動化率）	固定資産回転率		

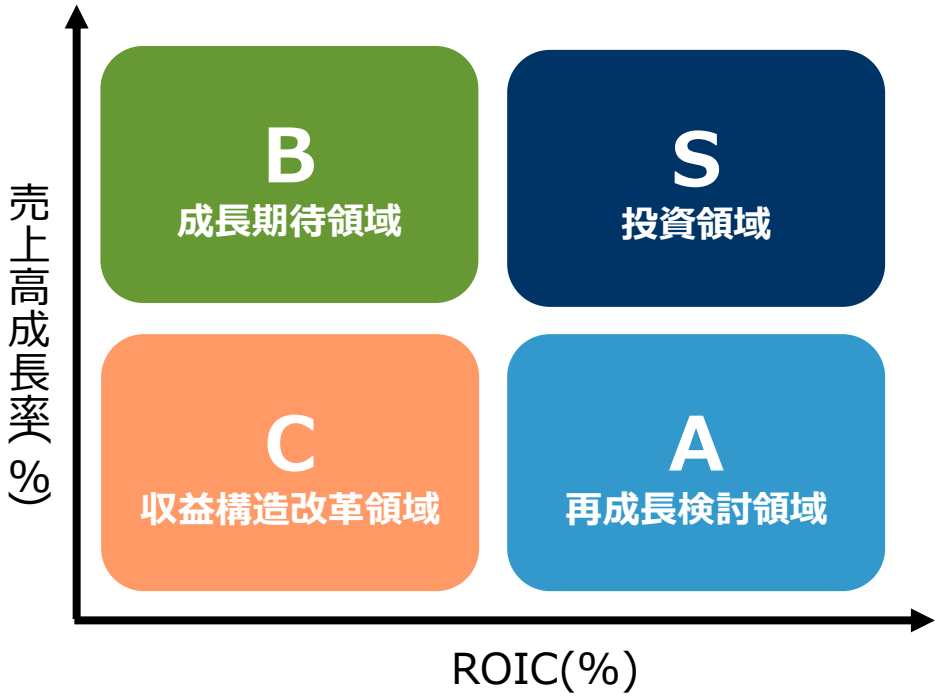
ROIC

Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

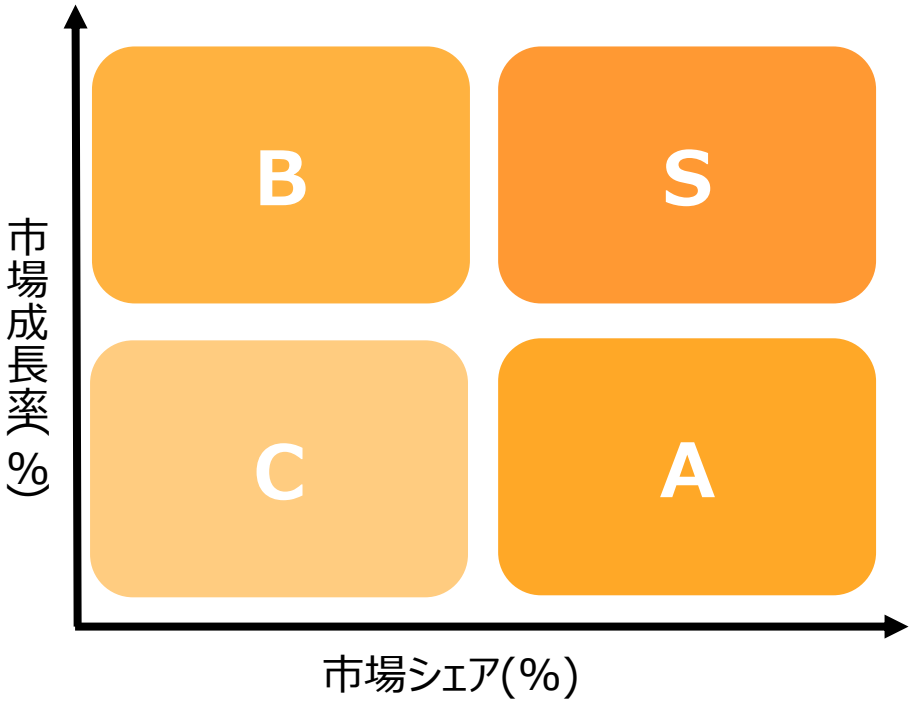
ポートフォリオマネジメント

経済価値評価および市場価値評価を行い、最適な資源配分を実行

■経済価値評価



■市場価値評価

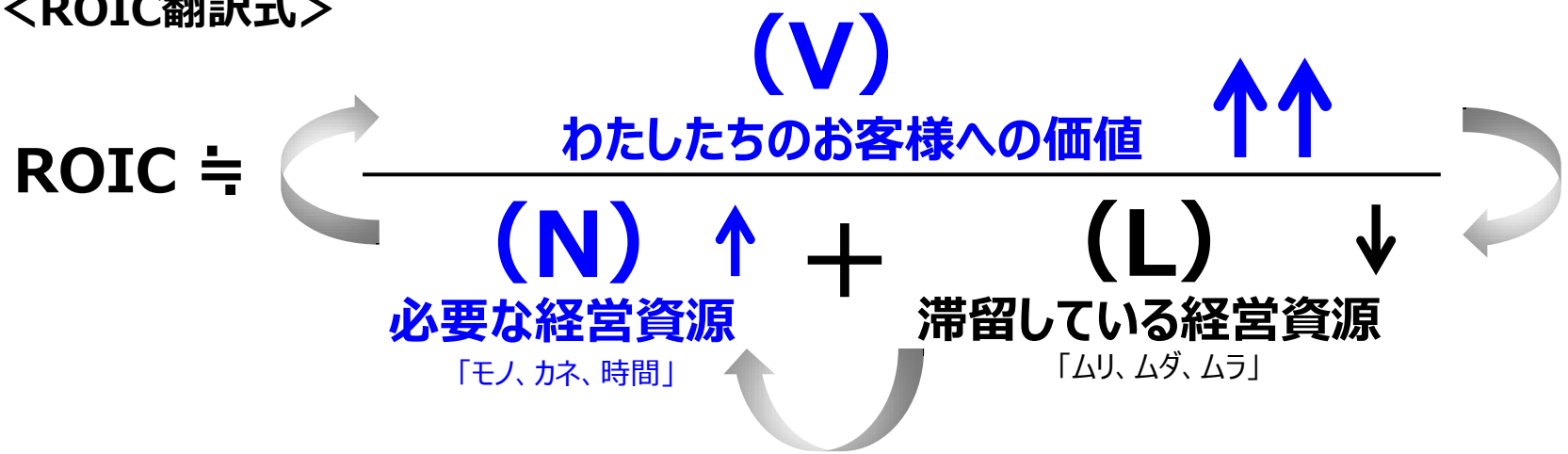


Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

ROIC経営の進化（ROIC経営2.0）

ROICのより深い理解により、各人が自分ごととして捉え、
自律的に活動が展開できるように進化させていく

＜ROIC翻訳式＞



①価値創造のために**必要な経営資源(N)**（モノ、カネ、時間）を果敢に投入する。

②それ以上に、**お客様への価値(V)**を大きくする （↑は二つ!)。

③滞留している経営資源(L)（ムリ、ムダ、ムラ）を減らして(N)にシフト/投入する。

Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

コーポレートガバナンス体制

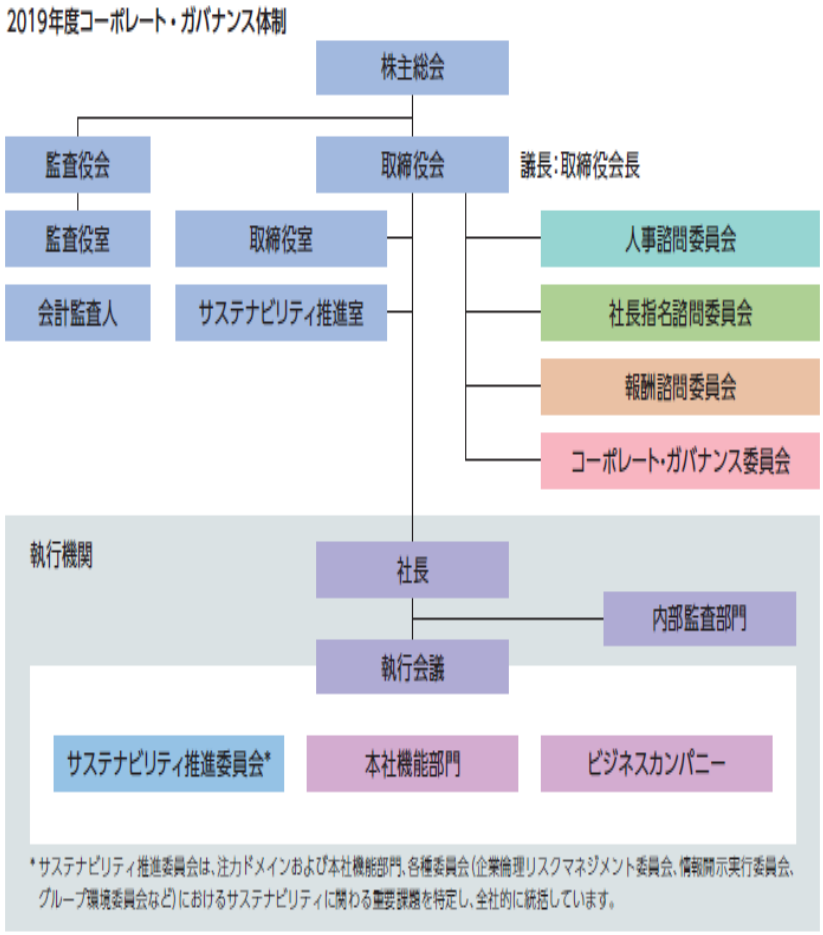
持続的な価値向上を担保するため、透明性・実効性の高い機関設計

✓ 監督と執行の分離

- 取締役会議長とCEOの分離
- 2015年6月23日定時株主総会より
  全取締役8名中、3名が社外独立取締役、
  非業務執行取締役がマジョリティ
- カンパニー社長への大幅権限移譲により、
  意思決定を迅速化

✓ 人事諮問・社長指名諮問・報酬諮問委員会、コーポレート・ガバナンス委員会の設置

- 監査役会設置会社として監査機能をもつと同時に、
  3つの諮問委員会と1つの委員会を設置
- いずれの委員会も、委員長は社外独立取締役
- 社長はいずれの委員会にも属さない

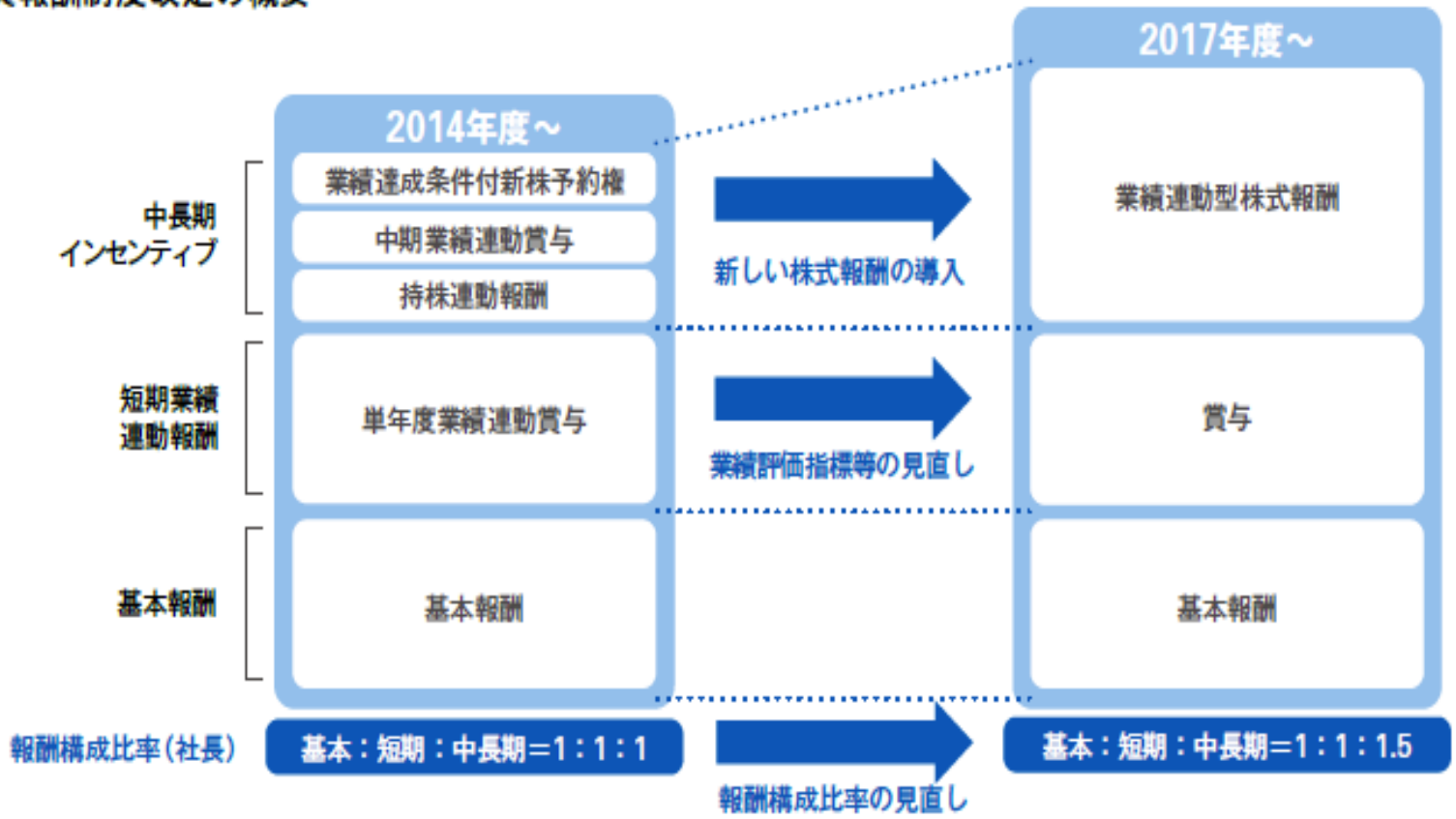


Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.

報酬体系

役員報酬における中長期業績連動の構成比率を拡大。

役員報酬制度改定の概要



Copyright: 2019 OMRON Corporation. All Rights Reserved.


OMRON